

小売・物流などでの Web3.0の最新事例



Casley Deep Innovations, Inc.

黒岩 佳加



自己紹介

黒岩 佳加

経営企画部 執行役員

担当

- 法務
- ガバナンス設計
- web3における分散アーキテクチャ、
ユーティリティ/ガバナンス/インセンティブ設計
- クロスボーダーの経営管理



アジェンダ

- ❑ 会社紹介
- ❑ 総合万引き対策ソリューション: **ASCA®/不審者検知 with SAFR**
- ❑ web3技術を活用した安全なデータ管理・共有: **furehako®**
- ❑ データガバナンスの取り組み



会社紹介

社名 : Casley Deep Innovations株式会社

住所 : 渋谷区恵比寿 恵比寿ガーデンプレイスタワーB1F

設立 : 2023年4月 (創業 : 2013年1月)

事業 : ディープテック領域のシステム開発 / プロダクト開発事業

web3、XR、AI等、先端技術領域に関する開発・販売

加盟団体 : 工業会 日本万引防止システム協会 (JEAS)、

一般社団法人 ソフトウェア協会 (SAJ)

保有資格 : ISMS、QMS



ASCA®/不審者検知 with SAFR

DXプラットフォーム**ASCA®**に
不審者検知システムと顔認証**SAFR**を融合させた万引き対策の総合ソリューション

ASCA®

弊社独自開発のDXプラットフォーム。既設の監視カメラにソフトウェアでの後付けが可能。

不審者検知システム

監視カメラで撮影した映像から人が発する振動・周波数成分をリアルタイムで解析し、対象者を検知するシステム。

SAFR

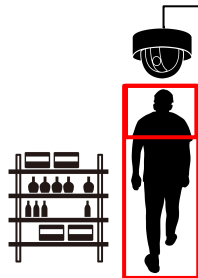
ディープラーニングにより顔データを学習し、世界最高水準のAIを搭載した顔検証ソフトウェア。



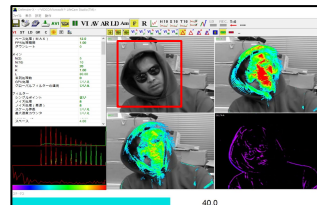
ASCA®/不審者検知 with SAFR

A店舗

不審者検知システム

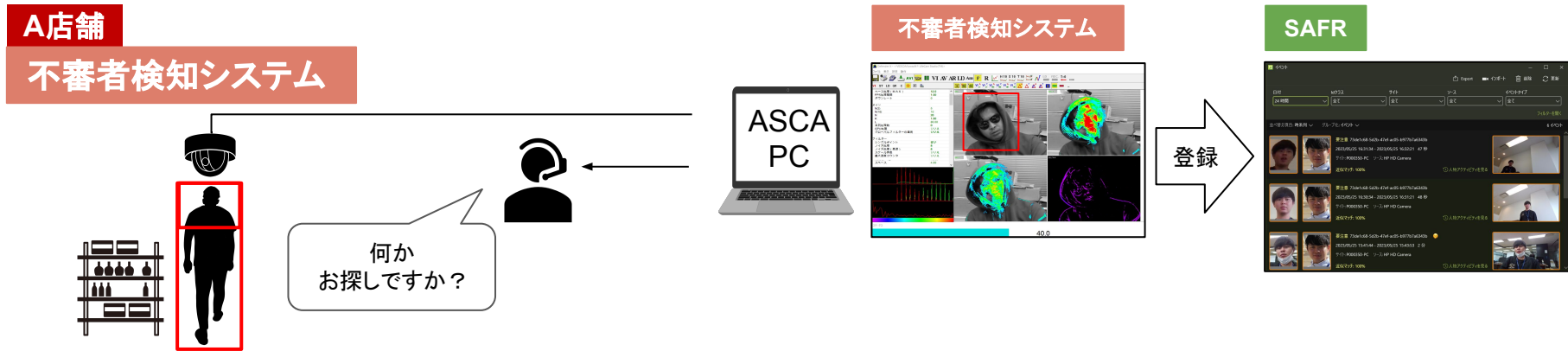


不審者検知システム



大手小売店での
導入事例

ASCA®/不審者検知 with SAFR



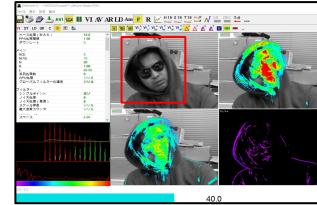
ASCA®/不審者検知 with SAFR

A店舗

不審者検知システム

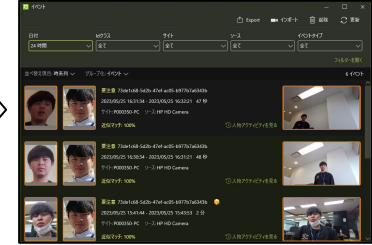


不審者検知システム



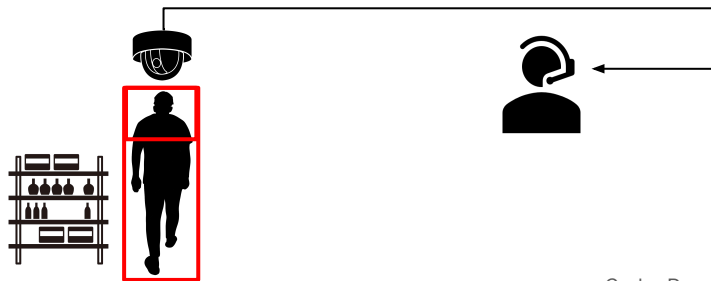
登録

SAFR

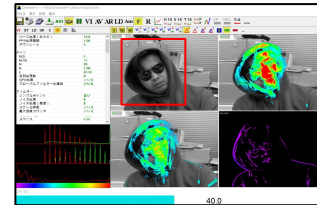


B店舗

不審者検知システム

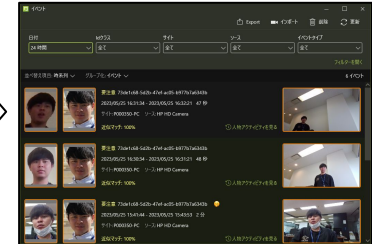


不審者検知システム



登録

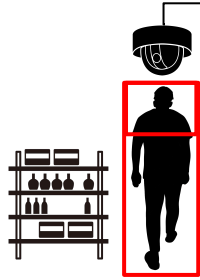
SAFR



ASCA®/不審者検知 with SAFR

A店舗

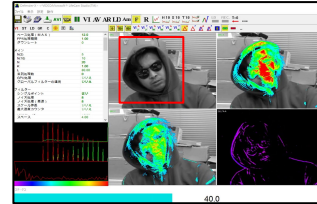
不審者検知システム



何か
お探ですか？

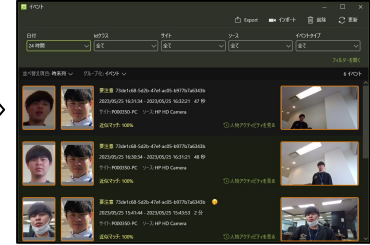


不審者検知システム



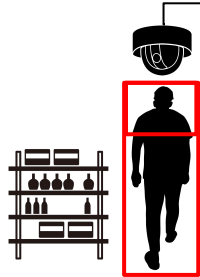
登録

SAFR

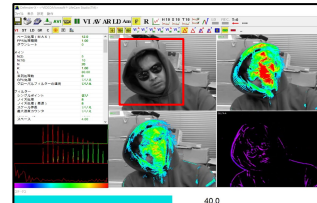


B店舗

不審者検知システム



不審者検知システム



登録

SAFR

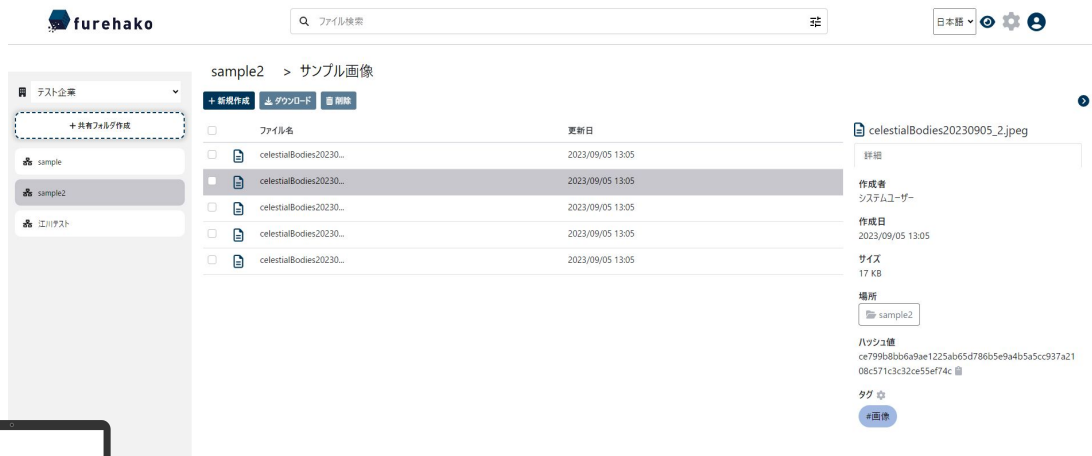
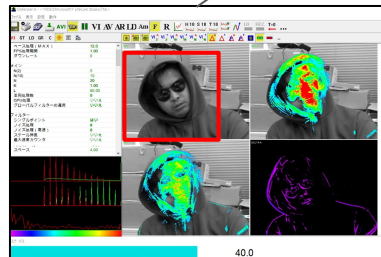


furehako®

機密分散保存
機密通信

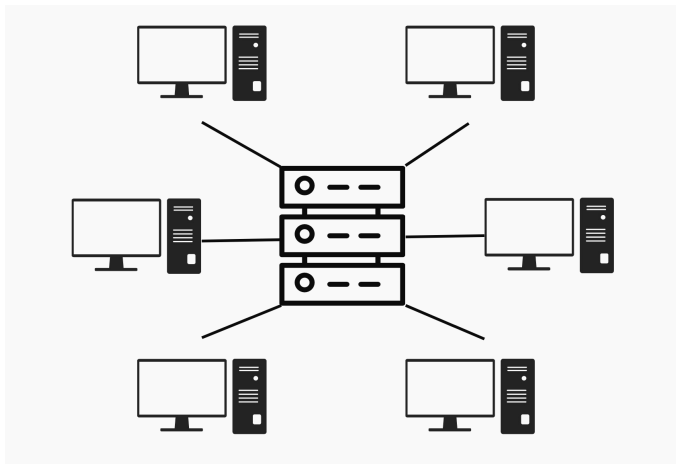
furehako®とは: セキュリティに特化したファイル管理・共有システム

個人情報



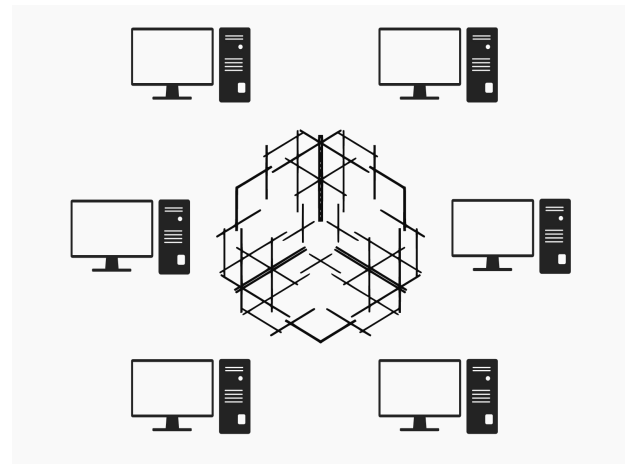
不審者検知システムで検出し登録した画像を
furehako®にバックアップ
⇒他店舗へ安全に情報共有が可能

Web2.0 HTTP



中央集権型ネットワーク

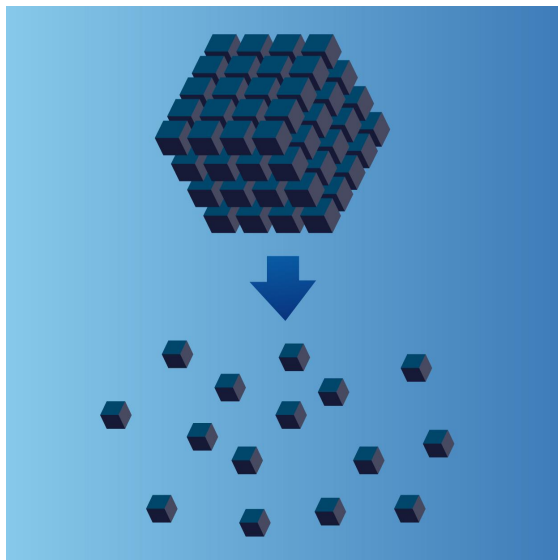
web3.0 機密分散



分散型ネットワーク

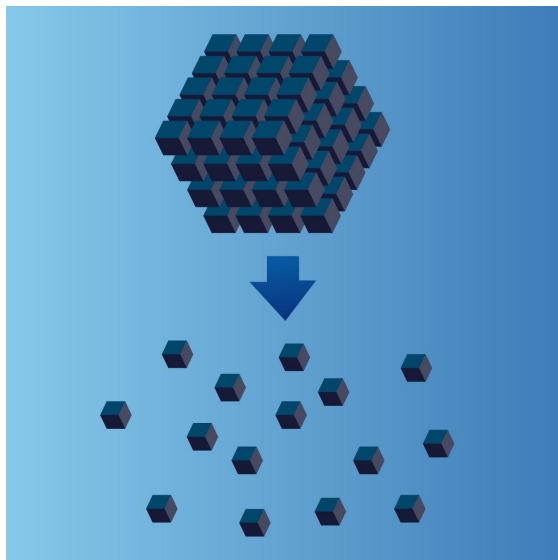
furehako[®]の仕組み: 3ステップの機密分散保存

Step 1: 断片化



furehako®の仕組み: 3ステップの機密分散保存

Step 1: 断片化

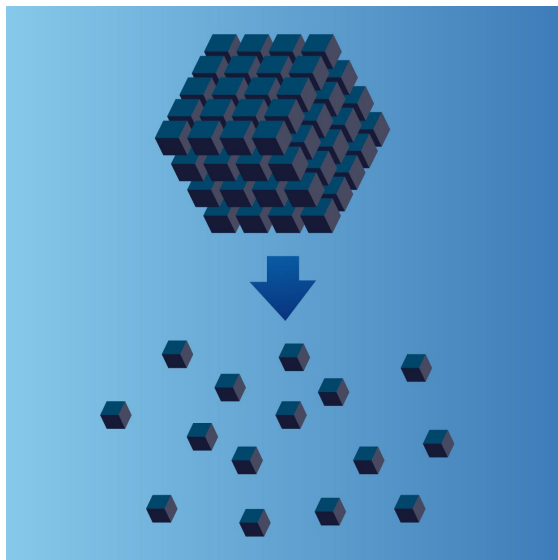


Step 2: 暗号化



furehako®の仕組み: 3ステップの機密分散保存

Step 1: 断片化



Step 2: 暗号化



Step 3:
機密通信・機密分散





furehako®の特徴

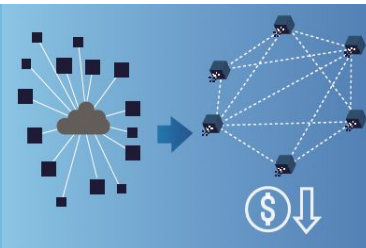
特徴
01

ハッキングを防ぐ次世代のセキュリティ技術



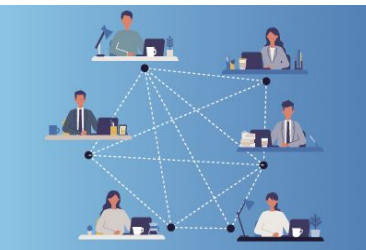
特徴
02

大容量データ管理の
コストパフォーマンス最大化



特徴
03

web3を用いた脱クラウド型のデータ管理



NICTの委託研究で採択

2025年2月27日採択(課題番号 241)



1. 研究開発課題

○高信頼データ流通のための非集中型ネットワーク内ストレージ及びアプリケーションの研究開発
(課題番号241)

- ・概要： 本委託研究では、ブロックチェーンとNICTセキュアオフチェーンストレージを用いる高信頼・高効率の非集中型ネットワーク内ストレージフレームワークを設計・実装し、アプリケーション実証により有効性を示すことを目的とする。
- ・研究開発期間：令和7年度（4月1日または契約締結日）から令和8年9月30日まで
- ・研究開発予算：令和7年度は総額（一般管理費・税込）5,000万円、令和8年度は総額2,500万円を上限とする。（提案の予算額の調整を行った上で採択を決定する場合がある。）
- ・採択件数： 1件
- ・関連資料： [研究計画書（課題番号241）](#) [PDF形式]

データガバナンスの取り組み

■システム導入事業者への情報提供

❑ チェックシート

利用目的の特定、運用基準の策定、安全管理措置等のチェック項目をご用意しています。全てにチェックがつけば導入準備は完了です。

❑ 準備事項

- カメラシステム導入前の準備
- カメラシステム導入時の対応
- カメラシステム導入後の対応

各フェーズにおけるポイントや参考例を具体的にご説明します。また、テスト段階からご訪問を重ね、ご準備・ご対応の状況を共に確認させていただきます。

❑ 必要な文書

1. 個人情報保護方針
2. 運用マニュアル
3. 店舗掲示

全て雛形をご用意しています。



ご清聴ありがとうございました



ASCA®/不審者検知 with SAFR



furehako®